



SEMINAR REPORT

湖山医療福祉グループ

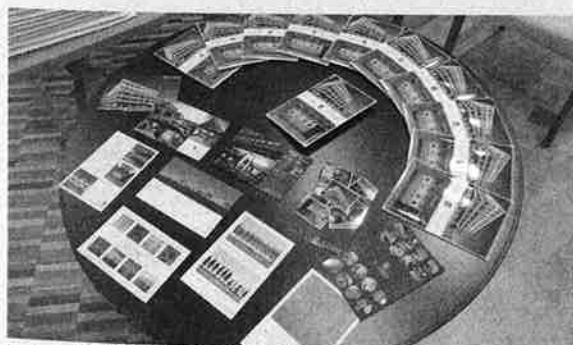
「入所者が自慢できるようなホームに」の
思いが結実した絵葉書セット

●マナーハウス横山台「絵葉書セットお披露目」

湖山医療福祉グループの特養ホーム「マナーハウス横山台」(神奈川県相模原市)は、9月21日、「絵葉書セットお披露目」を行った。同ホームは今年4月にオープン。美術に関心の深い同グループの湖山泰成代表が、イギリス在住のシルクスクリーン・アーティスト、志村博氏の作品に一目ぼれし、82点の作品を同ホームの各階に展示している。

今回の絵葉書セットは、同ホームの内外観と、志村氏の作品を10枚の絵葉書にしたもの。湖山代表は「いまから14年前、最初の特養で、入所者から『ここに住んでいることが恥ずかしいから知られたくない』という声を聞き、悔しくて涙が出ました。入所者が自慢できるようなホームをつくり、その絵葉書をつくりたい。その思いが実現しました。ぜひ、転居通知を出して、友達を呼んでお茶を飲んでおしゃべりして、志村先生の作品を見ていただきたい」と絵葉書制作の思いを語った。また、志村氏は「日本一の絵葉書ができた。10枚にはストーリー性があるので感じてほしい」とあいさつした。

後半は、志村氏が1975年から暮らすイギリスの風景を、写真とトークで楽しむ会が開かれ、来場者は美しい風景とふだんは聞くことのできない話を楽しんだ。



マナーハウスの内外観と志村氏の作品で構成した10枚の絵葉書